

日常生活の注意ポイント！

皮膚がんとう頭頸部がんについて学ぼう

鳥取大医学部付属病院がんセンター市民公開講座 要旨紹介

鳥取大医学部付属病院がんセンター（米子市西町、小谷昌広センター長）の市民公開講座が7月29日、米子コンベンションセンターで開かれた。...

ごあいさつ

センター長 小谷昌広



予防の参考に

今回のテーマは頭頸部がんとう皮膚がんです。皮膚がんは、数は少ないながらも年々増えています。頭頸部は、五感のうち視覚以外の四つの感覚に関わる重要な臓器です。...



「頭頸部がんについて知ろう！」

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 藤原和典教授



頭頸部は、顔、首、口、鼻、喉など、鎖骨から上の脳と眼球を除いた部分です。狭い領域ですが、呼吸、食事、発声、味覚、聴覚など、生きる上で非常に重要な機能を果たしています。...

「皮膚がんの診断と治療」

皮膚科 吉田雄一教授



皮膚がんは希少がんの一つで、近年、特に高齢者を中心に増加傾向です。かかるとは年間約2万3千人、死亡数は約1万7000人、5年生生存率は94・6％です。...

知識とセルフチェック大切

頭頸部がんのセルフチェックリスト(抜粋)

※日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会ホームページ「知っておきたい頭頸部がんのこと」より

- 口の中の(舌など)にしこりがある
触ると痛い状況が1カ月以上続いている
しばしば出血する
1カ月以上治らない口内炎がある
あごの下のしこりがある
喉
風邪や声の出し過ぎがないにも関わらず、1カ月以上声のかすれが続いている
のどの違和感が1カ月以上続いている、酸っぱいものや辛いものを食べるとのどにしみる
タンにしばしば血が混ざる
呼吸が苦しい、息がくさい
首にしこりがある

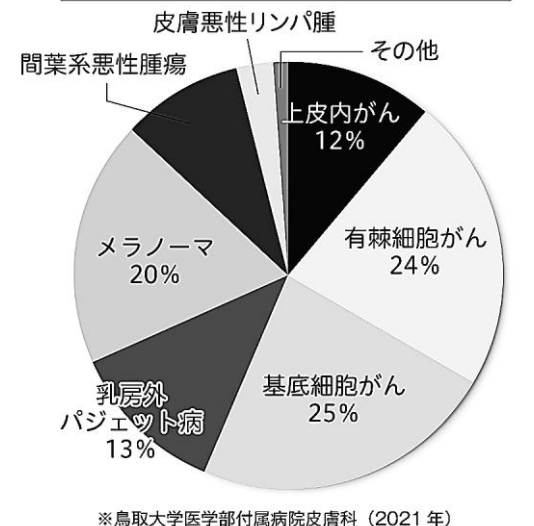
フチェックを行うことも大切です。首のリンパ節の触診は、胸鎖乳突筋という首の横にある筋肉の裏側、あごの下、鎖骨付近などを優しく触ります。...

頭頸部がんの主な治療法は手術、放射線治療、薬物療法ですが、近年急速に進化し、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬、ロボット手術、光免疫療法などが登場しています。...

高齢者を中心に増加傾向

見えにくい場所にできます。タムシや湿疹などと同様に発症し、進行して発見される場合もあります。メラノーマは「ほくろの仲間」と言われますが、ほくろとは無関係にできることが多いです。日本人では10万人に2人とまれで、足にできる場合が多く、若い人にもできます。...

皮膚がんの内訳



1歩は現在、さまざまながんの治療に使われていますが、初めて使われたのは日本でのメラノーマの治療です。皮膚がんの治療は基本的に手術で、進行した場合は放射線治療や抗がん剤治療を行います。...

鳥取大学医学部付属病院がんセンターでは市民公開講座の動画を公開しています

鳥取大学医学部付属病院がんセンターでは、年に数回市民公開講座を開催しております。これまでに開催した市民公開講座の講演を右記QRコードまたは、がんセンターHPより視聴できますので是非ご覧になってみてください。

がんセンターHPはこちら！
https://cancer-center.med.tottori-u.ac.jp

一未来の命を守るために一子宮がんの検診と予防

講師 とりだ病院 女性診療科 助教 工藤明子先生
とりだ病院 女性診療科 講師 佐藤慎也先生

そこの知りた！ “がん免疫療法”

講師 とりだ病院 がんセンター センター長 小谷昌広先生
とりだ病院 がんセンター 助教 矢内正晶先生
とりだ病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 藤原和典先生

患者にとって最高のがん治療とは

講師 日本医科大学 武蔵小杉病院 腫瘍内科 教授 勝俣範之先生

進化を続けるがん医療～がんとう内視鏡について～

講師 とりだ病院 消化器内科 助教 池淵雄一郎先生
講師 とりだ病院 がんセンター センター長 小谷昌広先生
とりだ病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教 小山哲史先生
とりだ病院 先進内視鏡センター センター長 八島一夫先生

検診から治療まで知ってほしいすい臓がんのこと

講師 入澤クリニック 院長 松本和也先生
講師 とりだ病院 消化器・小児外科 准教授 坂本照尚先生
とりだ病院 がんセンター 助教 山下太郎先生

今後も年に数回開催いたしますので、是非ご参加いただけますようお願いいたします。